

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに総務大臣から指定される事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力
- 2 無線局の種別
- 3 無線設備の設置場所
- 4 免許の有効期間

〔2〕 無線局の免許人があらかじめ総務大臣の許可を受けなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局を廃止しようとするとき。
- 2 無線従事者を選任しようとするとき。
- 3 無線局の運用を休止しようとするとき。
- 4 無線設備の設置場所を変更しようとするとき。

〔3〕 「F3E」の記号をもって表示する電波の型式はどれか。次のうちから選べ。

- 1 角度変調で周波数変調・アナログ信号である単一チャンネルのもの・電話（音響の放送を含む。）
- 2 パルス変調で無変調パルス列・変調信号のないもの・無情報
- 3 角度変調で周波数変調・デジタル信号である単一チャンネルのもの・ファクシミリ
- 4 振幅変調の両側波帯・アナログ信号である単一チャンネルのもの・電話（音響の放送を含む。）

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の25,010kHzから960MHzまでの周波数の電波を使用する無線設備（レーダーを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 100ワット
- 2 50ワット
- 3 30ワット
- 4 20ワット

〔5〕 無線局（総務省令で定めるものを除く。）の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、当該主任無線従事者に選任の日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 5年
- 2 1年
- 3 6箇月
- 4 3箇月

〔6〕 総務大臣が無線従事者の免許を与えないことができる者はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から5年を経過しない者
- 2 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- 3 日本の国籍を有しない者
- 4 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信を行う場合においては、暗語を使用してはならない。
- 2 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 3 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信終了後一括して訂正しなければならない。
- 4 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。

〔8〕 免許人は、無線局の検査の結果について総務大臣から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その措置の内容を免許状の余白に記載する。
- 2 その措置の内容を無線局事項書の写しの余白に記載する。
- 3 その措置の内容を検査職員に連絡し、再度検査を受ける。
- 4 速やかにその措置の内容を総務大臣に報告する。

〔9〕 無線従事者が総務大臣から3箇月以内の期間を定めてその業務に従事することを停止されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったとき。
- 2 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 3 その業務に従事する無線局の運用を1年間休止したとき。
- 4 その業務に従事することがなくなったとき。

〔10〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の運用の停止
- 2 電波の発射の停止
- 3 違反した無線従事者の解任
- 4 再免許の拒否

〔11〕 無線局の免許人は、主任無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 2 1箇月以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 3 2週間以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 4 速やかに、総務大臣の承認を受ける。

〔12〕 無線局の免許人が総務大臣に遅滞なく免許状を返さなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局の運用の停止を命じられたとき。
- 2 電波の発射の停止を命じられたとき。
- 3 免許状を汚したために再交付の申請を行い、新たな免許状の交付を受けたとき。
- 4 免許人が電波法に違反したとき。